

カヌーをした人の声は？

私は、両足が脳性麻痺のため少し歩行障害がありますが、カヌーに乗って初めて感じた事は、川に住む魚やアメンボから見た景色が、こんなに簡単に自分のものになるんだなあ、ということでした。

それから、川の上を自由に動けるようにカヌーの経験者から教えてもらったおかげで、思ったところへカヌーで移動することもでき、日常では得られない開放感と爽快感を味わっています。

特にツーリングをすると、水の気持ちよさを味わいながら、カヌーの底を泳ぐ魚や次々と変わりゆく情景を楽しむことができ、次はどこにいか！？とはや考える位に楽しめるスポーツと思います。

どんな障害を持っていても、一度川の上に出てみましょう。きっと楽しいことがあります。そして、新しいモノが見つかりますよ。

(伊藤清文:京都府在住:脳性麻痺)

障害者カヌーに関するご質問があれば、協会宛てにメールをください。 (paracha@kcn.ne.jp)

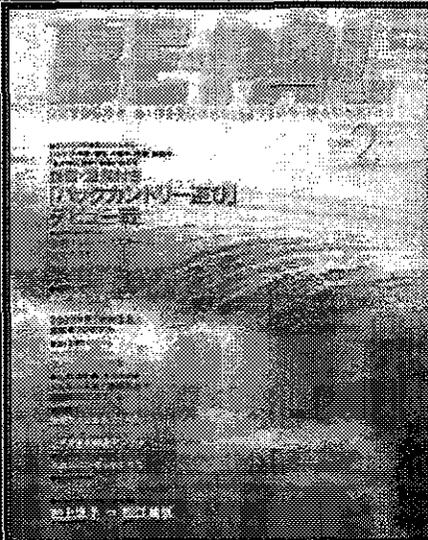
お問い合わせ



障害者とカヌーに関係する月刊誌、隔月刊誌をご紹介します！

日本での障害者スポーツは、長野パラリンピックを契機にして、一気にメジャーになってゆきつつありますが、その活動を紹介するメディアは、まだまだ多いとは言えない状態です。もちろん、障害者スポーツが特別視して紹介されることは、本当の姿ではないと思いますが、今はまだ、多くのメディアで紹介してもらって、より多くの人に見てもらい、知ってもらうことが大切な時期だと考えています。

そこで、障害者カヌーに関して、何度も紹介してもらっている月刊誌、隔月刊誌を紹介します。また、障害者の生活情報誌も紹介します。機会があれば、ぜひご覧下さい。



誌名【BE-PAL ビーパル】月刊誌

アウトドア遊びを紹介して20年。衰えない人気を誇る老舗(?)雑誌。作家である野田知佑(のだともすけ)さんの、人気連載「のんびり行きこうぜ」では、1991年以降、何度も障害者カヌーのことを紹介いただいた。野田さんには、何度も障害者カヌー講習会を手伝ってもらい、感謝深謝多謝！

この本では、松上京子さんが、「車椅子から青空が見える」と題して、カヌーのことを含めた話がエッセイとして発売中。

<http://www.bepal.net/>

雑誌コード:17631-12



誌名【WE'LL ウィル】月刊誌

カヌーやスポーツとは関係が薄いですが、障害者の「街遊び」「衣食住」などの視点から情報を発信。とかく、硬くなりがちなテーマを、明るく料理するのが本誌の特徴。理学療法士協会からの連載も興味深い。

毎号、表紙を飾るのが読者なので、応募してみるのも一興！？

現在、定期購読のみなのですが楽しい記事がありますよ。

<http://www.wellnet.co.jp/>

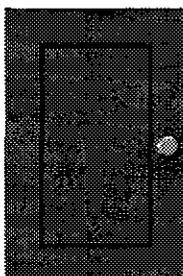
TOPへ戻る

障害者乗馬

私たちの活動にご関心をお寄せくださり、ありがとうございます。

障害のあるなしにかかわらず、乗馬を楽しみたい…。

私たちは、そんな気持ちで障害者乗馬(RDA～Riding for the Disabled Association～)の活動をしている非営利の市民活動団体です。
RDAの活動にご理解とご支援・ご協力をいただき、より充実した活動をしていきたいと考えます。
ぜひ、RDAの活動への参加と、ご支援をお願いします。



全国の情報 (RDA Japan)



RDA横浜の情報

RDA Japanへのメール
rdaj@thanks.biglobe.ne.jp

RDA横浜へのメール
rda-yk@tc5.so-net.ne.jp

By:RDA Japan & RDA Yokohama

RDA Japan

[HOME] [RDA 概要]

障害のあるなしにかかわらず、乗馬を楽しみたい・・・。

私たちは、そんな気持ちで障害者乗馬(RDA～Riding for the Disabled Association～)の活動をしている特定非営利活動法人(NPO)です。RDAの活動にご理解とご支援・ご協力をいただき、より充実した活動をしていきたいと考えます。

そして、私たちの活動は、たくさんの企業や団体、個人の皆さまからの会費や寄付によって支えられています。ぜひ、RDAの活動への参加と、ご支援をお願いします。

『日韓・フレンドシップ乗馬交流』の日程が決定しました
当初の日程から変更となっております『日韓・フレンドシップ乗馬交流 ～ 外務省「日韓友情年2005」記念認定事業 ～』の実施日が決定しました。
4月30日(土)～5月3日(火)です。
詳しい事業内容につきましては、[こちら](#)に掲載いたしております。
ぜひ、ご参加ください。

国税庁長官認定『認定特定非営利活動法人(認定NPO)』に認められました！

前年度から「認定NPO」を視野に入れて動いておりましたが、ようやく認定の通知書をいただくことができました。
全国各地で障害者乗馬の活動に関わる『みんなの力の結集』と、皆さまのご支援の賜物です！
なお、認定期間は2005年1月1日から2006年12月31日の2年間で、継続の場合は再申請となります。

認定NPOは、全国にある約19,000団体もあるNPO(ちなみに全国の中学校数は約13,000校)のうち、「広く市民から支持され、組織運営が適正に行われ、情報を公開している」ことを主な要件に国税庁長官が認定する制度です。
これにより、認定NPOに寄附して下さった企業や個人が寄付金控除などの優遇措置を受けることができるので、NPO運営の根本とも言える財源確保がしやすくなる
制度と期待されています。
ただ、認定を受けるためには、要件を満たすことを証明する詳細な書類の提出や
厳正な審査などがあり、全国約19,000のNPOのなかで「認定NPO」と認められてい

る団体数は26(0.13%)と非常に少なく、私たちRDA Japanは27番目の「認定NPO」ということになります。

ここで、「認定NPO」のメリットを整理して、お知らせいたします。
今後、ご寄附くださるときのご参考にしていただき、不明な点は事務局へお問合せください。

<寄附者に対する税の優遇措置>

(1)個人が寄附する場合

所得税(国税)の算定において、認定NPOや国・地方公共団体、特定公益増進法人

などへの「年間寄附金総額から1万円を差し引いた額」が所得金額から控除されます。

(年間寄附金総額の上限は所得金額の25%)

(2)法人が寄附する場合

法人税(国税)の算定において、認定NPOと特定公益増進法人に対する寄附金は、

一般の寄附金に係る損金算入限度額とは別に、同額の損金算入限度額が設けられてい

ます。すなわち、「最大で通常の2倍の寄附が損金算入できることとなり、この分に

は法人税が課税されない」という制度です。

なお、お金の寄附に加え、「その企業が製造や販売している物品の提供」も寄附とし

て取り扱うことが可能となる場合もあります。

(3)相続または遺贈により取得した相続財産を寄附する場合

相続税(国税)の算定において、認定NPOに寄附した分は相続税の課税対象から

除かれます。

● ご支援をお寄せくださっている企業や団体のお名前

- ・カバロ東京 <[リンク](#)>
- ・株式会社クリニコ <[リンク](#)>
- ・グレート・ブリテンササカワ
- ・ゴールドマン・サックス証券株式会社 <[リンク](#)>
- ・財団法人笹川スポーツ財団 <[リンク](#)>
- ・財団法人損保ジャパン記念財団(旧・安田火災記念財団) <[リンク](#)>
- ・大日本製薬株式会社 <[リンク](#)>
- ・社団法人東京青年会議所 <[リンク](#)>
- ・東京都共同募金会 <[リンク](#)>
- ・東京マリーンロータリークラブ
- ・凸版印刷株式会社 <[リンク](#)>
- ・財団法人日韓文化交流基金 <[リンク](#)>
- ・日本ケミカルリサーチセンター株式会社
- ・日本馬主協会連合会
- ・独立行政法人日本スポーツ振興センター <[リンク](#)>

- ・株式会社ハウフルズ
- ・メリアル・ジャパン株式会社 <[リンク](#)>
- ・モルガン・スタンレー証券株式会社 <[リンク](#)>
- ・リーバイス・ストラウスジャパン <[リンク](#)>

※ 五十音順。乞許、敬称略。
 ※ ご支援をいただきました内容は、[こちらのページ](#)に掲載しております。
 ※ 上記の企業や団体の皆さまの他に、たくさんの個人の皆さまからもご支援をいただいております。ありがとうございます。深く感謝申し上げます。
 なお、個人のお名前については、プライバシーに配慮し掲載は見合わせております。

● RDAチャリティ絵ハガキについて
 RDA活動に参加するライダーやボランティアヘルパーによる、「馬」をモチーフに描いた絵や撮影した写真を絵ハガキにしました。
 収益は、障害者乗馬の活動に活かしますので、ぜひお求めください。

※ 詳しくは、[ここ](#)をご覧ください。

● プロフィール	更新日: 2001.01.01
● 活動の要件	更新日: 2001.01.01
● もう一つの願い	更新日: 2001.01.01
● 今後の予定	更新日: 2004.12.28 ●
● RDA Japanの歩み	更新日: 2004.09.05 ●
● 2003年度事業の報告	更新日: 2004.05.10 ●
● 入会案内	更新日: 2001.01.01
● お薦めの書籍	更新日: 2001.06.30
● 海外の文献	更新日: 2001.01.01
● 頒布品のご案内	更新日: 2001.01.01
● リンク	更新日: 2004.05.10 ●

[[HOME](#)] [[RDA雑誌](#)]

メール rdaj@thanks.biglobe.ne.jp

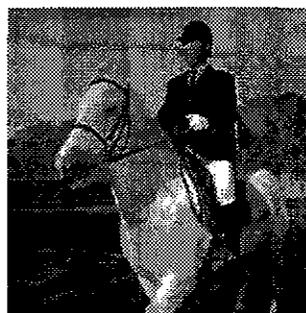
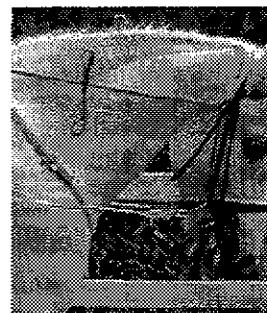
〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-2-301
 電話 & Fax・03-3946-4204

By:RDA Japan

NPO法人

RDA横浜

～障害をもつ人のための乗馬～



障害のあるなしにかかわらず、乗馬を楽しみたい・・・。
私たちは、そんな気持ちで障害者乗馬(RDA)の活動をしている
特定非営利活動法人(NPO)です。

- RDA横浜の紹介
- 障害者乗馬とは
- 入会案内
- リンク

☆更新情報
☆

2004年12月28日
『スケジュール』を更新しました。

更新履歴は[こちら](#)です。

最終更新日 2004/12/28

- 活動の報告
- お知らせ
- スケジュール
- コラム

案内地区 | 問い合わせ | English | RDA Japan | Copyright (C) 2003 RDA Yokohama. All rights reserved.

本ホームページに掲載されている画像・文書等、すべての内容の無断転載・引用を禁止します。

RDA横浜

障害を持つ人のための乗馬

▶ TOPへ	▶ RDA横浜の紹介	▶ 障害者乗馬とは	▶ 入会案内	▶ LINK
	▶ 活動報告	▶ コラム	▶ スケジュール	▶ お知らせ

TOP > RDA横浜の紹介

RDA横浜の紹介

RDA横浜について説明しま

RDAとは、Riding for the Disabled Associationの略です。障害を持つ人たちにも健常者と同じように乗馬や馬車操作を楽しむことを提供し、健康や暮らしの質の向上を図ることを目的として、1964年に慈善団体のRDAがイギリスに結成されました。現在はアン王女が総裁を務めています。乗馬による治療効果よりも、障害者の社会参加、あるいはレクリエーションの一つとしてとらえられており、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、香港などがかなり強い影響を受け、インストラクターの試験内容なども統一されています。RDA横浜は、1997年にRDA英国本部より活動が認められ、横浜に根付いた地域活動をしています。



- 成り立ち
- 事業・活動内容
- 団体概要

[案内地図](#) | [問い合わせ](#) | [English](#) | [RDA Japan](#)

Copyright (C) 2003 RDA Yokohama. All rights reserved.

本ホームページに掲載されている画像・文書等、すべての内容の無断転載・引用を禁止します。

SHIROUMA

障害者登山サークル **しろうまの会** ホームページへようこそ



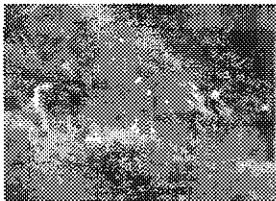
わきあがる夏風 どこまでも青い空 雪渓に吹くそよ風
可憐に咲く高山植物 眩しいほどの若葉のみどり 霧に
小鳥たちのさえずり リスやオコジョなどのゆかいな
数えきれないほどの星空 冷たくて清らかな沢の水
なにものにもかえられない美しい自然

山には沢山の魅力があります

わたし達と一緒にいい汗かきませんか？

しろうまの会は障害者と健常者がともに

最新更新日 1月17日



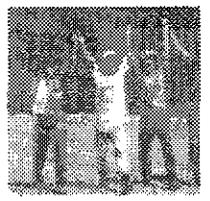
参加者募集

例会についてや参加条件
参加してやってもらう事な
どについて。参加希望者
は必ず見てください！



我らしろうま

しろうまの会の歌いい歌
だから一度聞いてネ！



仲間へLIN

同じような活動をする
グループのL I .
あるよ！

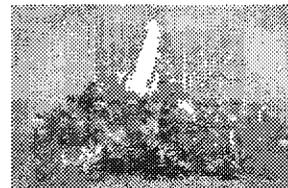
あゆみ

会の発足や主旨などの紹介
初めてのの方は是非見て
ください

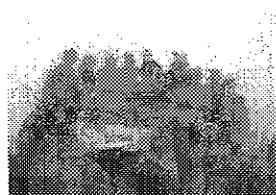


山行記録

今までに会で登った山々
を写真で紹介します。



しろうまの会の目



なぜなぜ山登り

登山の基本やマナーなどを
しろうまの会用に判りやす
く説明します。



山で使える手話

しろまの会の手話グルー
プが作ってくれました。
(pdf)

イベント案内

最新の山行予定・例会・
イベントの案内



介助の方法

会独自で開発した登山イス、
背負子についての説明
今後、介助の仕方などを紹
介する予定です。



History of
Shirouma-no-ka
創立の経緯から現在
の歴史を綴りました

しろうまの会のあゆみ

会の始まり 会の主旨 活動内容 登山方法と介助のしかた これから



会の始まり

発足は1988年で、当時東京都板橋区でアジアからの労働者の支援を行っていたグループが主催したハイキングに車イス使用者も2名参加、車イスごとみんなで持ち上げ一緒に登頂しました。車イスの参加者の「はじめて山にきて感動したが、もっと高い山へ行ってみよう」との言葉を聞いた一人が、グループの仲間やその頃障害者と富士山に登る計画を立てていた別グループの人達を巻き込んで、会を発足しました。北アルプスの白馬岳ならば比較的安山に行けるということで、白馬岳の登頂を目標にし会の名前もそこからとり「白馬の会」と命名しました。(現在は「しろうまの会」に改名)その白馬岳には、1990年8月に登頂、98年には会の発足10周年を記念して2度目の登頂を果たしました。



会の主旨

登山を中心としたアウトドアの活動を、「障害のあるなしにかかわらず一緒に楽しむ。」これがしろうまの会の主旨です。「ボランティア募集」というかたちで人を集めたりした時期もありましたが、「山や自然を楽しむ仲間の中にいろいろな人達がいて、その中に障害者もいる」というのが基本的な考え方で、ボランティアということにこだわってはいません。ボランティアかどうかは、参加者個人が判断して下さいればよいことだと思います。みんなで楽しく・安全に山に登るには、参加者一人ひとりの協力があってからこそ可能です。しかし、それは障害者がいる・いないに拘わらず、集団で山に登る時の当たり前前の姿であり、時として私たちの普段の生活も同じではないか考えています。

実際に障害者が山に登るには、健常者が障害者の足代わりになることもありますが、その人が出来ることで参加して頂ければよいと考えています。



活動内容

活動は夏の泊りがけの山行を主体に、ハイキング等を一月に1回行っています。夏の山行は、毎年日本アルプス等の3千メートル級の山を目指し、ハイキングは東京近郊の千メートル前後の山から、花見やバーベキューをかねた低山や川沿いハイク等を行っています。また、冬には泊まりがけでスキーへも出かけます。

山行以外の活動では、月2回の例会を行っています。ここでは山行の準備や会の運営方法等の話し合いを行っています。会に関することはこの例会で決めていますので、会への参加者は出来るだけ出席をお願いしています。

月に1度、しろうまニュースを発行し活動内容を会員へお知らせしています。また1年に1回程度、文集を作成しひとりひとりの思いを載せています。



登山方法・介助のしかた

発足からしばらくは、車椅子使用者は会で試行錯誤のうえ独自に開発した登山イスを使用して登山をしました。登山イスとは、パイプを担架型に組んで中央に椅子を固定しそこに障害者が乗り、前後で担ぐといったものでした。しかし、この登山イスでは急斜面等では使用できないため、現在は市販の背負子に手を加えたもやおぶい紐などと併用したり、障害者介助用につくられたキャリアなど出来るだけ障害者にあわせた方法を取っています。

また夏山の場合等は、車イス登山者も出来る限り頂上近くからは車イスや這う等の方法で、最後は自力で登頂出来るようサポートしています。ハイキング等の場合は、行ける所まで車イスを押して行き、その先の状況等により背負子を使用したりオンブをしたりしています。自力歩行可能な者(下肢障害等)は健常者が腕をとる等の介助を受けながら登り、視力障害者は晴眼者のザックにつけた紐を持って登るかあるいは、腕をとって登ります。いづれにしても個々で障害の程度も異なり、介助のしかたもその場合々によってこととなります。基本的には介助される者に聞くのが一番だと考えています。どの方法がよいかは試行錯誤しているのが現実です。アドバイス等ありましたら、よろしく願います。



これから

数年前までは、参加者も少なく人集めに苦労した時期もありましたが、現在は会員も増え、参加者も多いときには50名近くにもなりました。以前にくらべれば多くの人に参加してもらえるようになりましたが、参加したいが家が遠いので参加出来なかったり、家から出る事さえ難しいといった障害者の声も多く聞きます。これからは、会そのものが大きくなるのではなく当会のようなサークルが他にも多く出来たり、また一般の登山サークルが障害者を受入れるようになればと思っています。そのことにより、一人でも多くの人達に山登りの楽しさや自然の素晴らしさが伝わればと考えています。そして、いつの日か「しろうまの会」が障害者登山サークルではなく、ただの登山サークルと名乗る日が来ることを祈っています。

山や自然の素晴らしさは実際に行ってみなければわかりません。しかし行きたくても自分の力だけではそこまで行けない人達もいます。そしてひとりでは出来ないこともみんなの力を合わせれば、出来る事が沢山あります。そんな思いを大切にしながら、ひとりでも多くの人達に山の素晴らしさをしてもらおうと活動していきたいと思えます。

TOPへ戻る

[山行記録](#) [参加者募集](#) [山行記録](#) [我らしろうま](#) [仲間へLINK](#) [伝言板](#) [イベント案内](#) [なぜなぜ山登り](#) [介助方法](#) [山で使える手話](#)



Ski For Light - Japan スキー・フォー・ライト ジャパン

SKI FOR LIGHT
JAPAN

視覚障害者と健常者によるクロスカントリースキー・プログラム

since: 1996.10.19 / last updated: 2004.12.1

- [スキー・フォー・ライト ジャパン \(SFL-J\) とは](#)
- [第10回 スキー・フォー・ライト ジャパン](#)
- [第30回 スキー・フォー・ライト インターナショナル](#)
- [第42回 リデレント](#)
- [SFL-J 過去の国内での活動](#)
- [SFL-J 過去の海外での活動](#)
- [米国 Ski For Light ホームページへのリンク](#)
- [更新情報](#)

スキー・フォー・ライト ジャパン (SFL-J) とは

スキー・フォー・ライトは、1975年より米国で続けられている視覚障害者と健常者によるクロスカントリースキー・プログラムです。その日本版であるスキー・フォー・ライト ジャパンは、1995年より活動を開始し、1996年からプログラムを開催してきました。モットーは "If I can do this, I can do anything."

スキー・フォー・ライト ジャパンでは、視覚障害者と健常者が1対1でペアを組んで、3日間に渡ってクラシカル走法によるクロスカントリー・スキーを行ないます(クラシカル走法とは、雪面にスキー幅のトラック(溝)がひかれており、この溝にそって走るスタイルです)。健常者はガイドとして、コースの状態や方角について指示をします。各ペアは最終日のタイムトライアルレースに向けて、トレーニングに励みます。

このプログラムでは、視覚障害者と健常者がフィフティー・フィフティーの立場で、クロスカントリー・スキーをレクリエーションという視点で楽しみ、共同でトレーニングを行ない、その結果として喜びを共有し、相互に理解し合います。クロスカントリー・スキーを通して視覚障害者は新たな自分の可能性を発見し、健常者は人に教える喜びを得ます。

スキー・フォー・ライトの理念として大切なことは、健常者は「視覚障害者の召し使い(servant)」ではないということです。健常者は「視覚障害者のためになにかをしてあげている(doen something FOR the visually impaired person)」のではありません。「視覚障害者と経験を共有している(sharing WITH the visually impaired person)」のです。

[最初のページに戻る](#)

第10回 スキー・フォー・ライト ジャパン

- 日程: 2005年1月8日(土)~10日(月・祝)
- 場所: 福島県 裏磐梯 国民休暇村 クロスカントリースキーコース
- 宿泊場所: 裏磐梯 国民休暇村 (住所: 福島県耶麻郡北塩原村檜原、電話番号: 0241-32-2421)
- [ニュースレター 第10号 \(2004.10.16\)](#)
- [参加を希望するみなさまへ](#)

<http://www.sflj.org/sflj.htm>

2005/01/25

- プログラム(予定)
- 参加申込書 (視覚障害者スキーヤー用 / 晴眼者ガイド用) (要提出)
- 参加同意書 (要提出)
- トラベル・インフォメーション、交通手段に関する確認書 (要提出)
- クロスカントリースキーの服装に関するご案内
- ガイドマニュアル

第30回 スキー・フォー・ライト インターナショナル

- 日程: 2005年1月30日(日)~2月6日(日)
- 場所: 米国 コロラド州 グランビー

第42回 リデレント

- 日程: 2005年4月3日(日)~10日(日)
- 場所: ノルウェー パイトストーレン

[最初のページに戻る](#)

SFL-J 過去の国内での活動

- 第9回 スキー・フォー・ライト ジャパン
 - 日程: 2004年1月3日(土)~6日(火)
 - 場所: 福島県 裏磐梯 国民休暇村
 - SFL-J 2004 : プログラム
 - ニュースレター 第9号 (2003.8.10)
- 第8回 スキー・フォー・ライト ジャパン
 - 日程: 2003年1月3日(金)~6日(月)
 - 場所: 福島県 裏磐梯 国民休暇村
 - SFL-J 2003 : プログラム
 - SFL-J 2003 : 参加者の感想
 - ニュースレター 第8号 (2002.9.8)
- 第7回 スキー・フォー・ライト ジャパン
 - 日程: 2002年1月3日(木)~6日(日)
 - 場所: 福島県 裏磐梯 国民休暇村
 - SFL-J 2002 : プログラム
 - SFL-J 2002 : 参加者の感想
 - ニュースレター 第7号 (2001.10.20)
- 第6回 スキー・フォー・ライト ジャパン
 - 日程: 2001年1月5日(金)~8日(月・祝)
 - 場所: 福島県 裏磐梯 国民休暇村
 - SFL-J 2001 : プログラム
 - SFL-J 2001 : 参加者の感想
 - ニュースレター 第6号 (2000.9.15)
- 第5回 スキー・フォー・ライト ジャパン
 - 日程: 2000年1月3日(月)~6日(木)
 - 場所: 福島県 裏磐梯 国民休暇村
 - SFL-J 2000 : プログラム

- [SFL-J 2000 : 参加者の感想](#)
- [SFL-J 2000 : 参加者の特別寄稿 \(コメディ エッセイ\)](#)
- [ニューズレター 第5号 \(1999.7.31\)](#)
- 第4回 スキー・フォー・ライト ジャパン
 - 日程: 1999年1月3日(日)~6日(水)
 - 場所: 福島県 裏磐梯 国民休暇村
 - [SFL-J 1999 : プログラム](#)
 - [SFL-J 1999 : 参加者の感想](#)
 - [SFL-J 1999 : 米国からのプログラム アドバイザーのコメント](#)
 - [ニューズレター 第4号 \(1998.8.1\)](#)
- 第3回 スキー・フォー・ライト ジャパン
 - 日程: 1998年1月3日(土)~6日(火)
 - 場所: 福島県 裏磐梯 国民休暇村
 - [SFL-J 1998 : プログラム](#)
 - [SFL-J 1998 : アンケート結果](#)
 - [SFL-J 1998 : 参加者の感想](#)
 - [ニューズレター 第3号 \(1997.9.14\)](#)
- 第2回 スキー・フォー・ライト ジャパン
 - 日程: 1997年1月4日(土)~7日(火)
 - 場所: 福島県 裏磐梯 国民休暇村
 - [SFL-J 1997 : プログラム](#)
 - [SFL-J 1997 : アンケート結果](#)
 - [SFL-J 1997 : 参加者の感想](#)
 - [ニューズレター 第2号 \(1996.9.23\)](#)
- 第1回 スキー・フォー・ライト ジャパン
 - 日程: 1996年1月5日(金)~8日(月)
 - 場所: 福島県 裏磐梯 国民休暇村
 - [SFL-J 1996 : プログラム](#)
 - [SFL-J 1996 : アンケート結果](#)
 - [SFL-J 1996 : 参加者の感想](#)

[最初のページに戻る](#)

SFL-J 過去の海外での活動

- 第41回 リデレント
 - 日程: 2004年3月21日(日)~28日(日)
 - 場所: ノルウェー パイトストーレン
 - [Ridderrennet 2004 : 日本からの参加報告](#)
- 第29回 スキー・フォー・ライト インターナショナル
 - 日程: 2004年2月8日(日)~2月15日(日)
 - 場所: 米国 ウィスコンシン州グリーンベイ
 - [SFL 2004 : 日本からの参加報告](#)
- 第40回 リデレント
 - 日程: 2003年3月30日(日)~4月6日(日)
 - 場所: ノルウェー パイトストーレン
 - [Ridderrennet 2003 : 日本からの参加報告](#)
- 第28回 スキー・フォー・ライト インターナショナル
 - 日程: 2003年2月23日(日)~3月2日(日)

- 場所: 米国 アラスカ州アンカレッジ
- SFL 2003 : 日本からの参加報告
- 第39回 リデレント
 - 日程: 2002年4月4日(日)~4月14日(日)
 - 場所: ノルウェー バイトストーレン
 - Ridderrennet 2002 : 日本からの参加報告
- 第27回 スキー・フォー・ライト インターナショナル
 - 日程: 2002年1月27日(日)~2月3日(日)
 - 場所: 米国 コロラド州 グランビー
 - SFL 2002 : 日本からの参加報告
- 第38回 リデレント
 - 日程: 2001年3月25日(日)~4月1日(日)
 - 場所: ノルウェー バイトストーレン
 - Ridderrennet 2001 : 日本からの参加報告
- 第26回 スキー・フォー・ライト インターナショナル
 - 日程: 2001年1月21日(日)~1月28日(日)
 - 場所: 米国 ウィスコンシン州 グリーンベイ
 - SFL 2001 : 日本からの参加報告
 - SFL 2001 : 日本からの参加者の感想
- 第37回 リデレント
 - 日程: 2000年3月26日(日)~4月2日(日)
 - 場所: ノルウェー バイトストーレン
 - Ridderrennet 2000 : 日本からの参加報告
 - Ridderrennet 2000 : 日本からの参加者の感想
- 第25回 スキー・フォー・ライト インターナショナル
 - 日程: 2000年1月30日(日)~2月6日(日)
 - 場所: 米国 コロラド州 グランビー
 - SFL 2000 : 日本からの参加報告
- 第24回 スキー・フォー・ライト インターナショナル
 - 日程: 1999年2月21日(日)~28日(日)
 - 場所: 米国 アラスカ州 アンカレッジ
 - SFL 1999 : 日本からの参加報告
- 第23回 スキー・フォー・ライト インターナショナル
 - 日程: 1998年2月8日(日)~15日(日)
 - 場所: 米国 ニュー・ハンプシャー州 ノース・コンウェイ
 - SFL 1998 : 日本からの参加報告
 - SFL 1998 : 日本からの参加者の感想
- 第22回 スキー・フォー・ライト インターナショナル
 - 日程: 1997年2月23日(日)~3月2日(日)
 - 場所: 米国 ミネソタ州 ブレイナード
 - SFL 1997 : 日本からの参加報告
 - SFL 1997 : 日本からの参加者の感想
- 第21回 スキー・フォー・ライト インターナショナル
 - 日程: 1996年1月28日(日)~2月4日(日)
 - 場所: 米国 サウスダコタ州 スピアフィッシュ
 - SFL 1996 : 日本からの参加報告
 - SFL 1996 : 日本からの参加者の感想
- 米国 Ski For Light ホームページへのリンク

[最初のページに戻る](#)

更新情報

- [2004.12.1] 第10回 スキー・フォー・ライト ジャパン (2005.1.8~10) への参加申込締切日を 12/15 に延期しました。
- [2004.10.16] 第10回 スキー・フォー・ライト ジャパン (2005.1.8~10) などへの参加者募集を開始致しました。
- [2004.10.16] スキー・フォー・ライト ジャパン 2003~2004年 活動報告を掲載致しました。
- [2004.3.1] SFL-J の Web サイト URL と代表メール アドレスを変更しました。

[最初のページに戻る](#)

Ski For Light - Japan (SFL-J) / info@sflj.org

Ski For Light - Japan スキー・フォー・ライト ジャパン

SKI FOR LIGHT
JAPAN

視覚障害者と健常者によるクロスカントリースキー・プログラム
No English version has been available yet.
since: 1996.10.19 / last updated: 2004.12.1

スキー・フォー・ライト ジャパン事務局

代表: 青松 利明
電子メール: info@sflj.org
ホームページ: <http://www.sflj.org/>

目次

- [スキー・フォー・ライト ジャパン \(SFL-J\) とは](#)
- [第10回 スキー・フォー・ライト ジャパン](#)
- [第30回 スキー・フォー・ライト インターナショナル](#)
- [第42回 リデレント](#)
- [SFL-J 過去の国内での活動](#)
- [SFL-J 過去の海外での活動](#)
- [米国 Ski For Light ホームページへのリンク](#)
- [更新情報](#)

このページへのリンクはご自由にどうぞ。ただしその際は、<http://www.sflj.org/> をお願い致します。また同時に、info@sflj.org 宛てにご連絡頂けると幸いです。

Ski For Light - Japan (SFL-J) / info@sflj.org

(財)全日本スキー連盟公認



(財)神奈川県スキー連盟

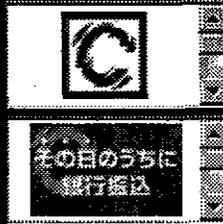
【SNOW PRISM CLUB】

あなたは

15754人目です

- ❁【クラブの概要】
- ❁【行事ご案内】
- ❁【入会ご案内】
- ❁【会員メーリングリスト】
- ❁【会員専用ページ】
- ❁【掲示板】
- ❁【リンク】
- ❁【インフォメーション】
- ❁【ライブラリー】
- ❁【質問コーナー】
- ❁【お問い合わせなど】

All Rights Reserved, Copyright
(C)SNOW PRISM CLUB 1998



スノープリズムクラブとは...



お知らせ

- ・ 会員同士の情報交換はメーリングリスト&会員専用ページがあります。
- ・ 2005年度行事のご案内を見てください。
※スノーボードの参加もOKです！
- ・ その他、行事だけでなく有志企画や強化部合宿などもあります。詳しくはお問い合わせください。
- ・ スキービデオをダウンロードで見れます！（会員のみ）



(財)神奈川県スキー連盟では”障害者向けのスキー教室”を開催しています。

障害部位別クラスによるスキー教室で、バッジテストの受検希望もできます。
聴覚障害者の部のご案内をします。
参加費が0円と格安なので是非、参加してみてください。

※参考：2004年度1月のレポート / 2004年度3月のレポート

【予約はコチラ】 大自然の宝庫ジンプラブエへは30万円～！エイピーロードで予約！

Nissan On-line
 ニッサン35周年。ありがとうキャンペーン
 DVD内蔵23型液晶テレビが当たる!



①Infocook センター試験 予感のミスか？
 少女暴行40件以上 再犯自供
 ポーラ化粧品顧客情報流出
 合成写真ばらまきで有罪判決

☆☆☆ 入会希望者随時受付中 ☆☆☆
 オフもイベントあります！

大自然とふれあい気楽に・・・

Enjoy



Challenge spirit

<登山・精神>

社会に必要性・自分のため・みんなのため



Handicap

<不利な条件＝障害者>

障害者である誇り・健常者と対等に

Nissan On-line
 ニッサン35周年。ありがとうキャンペーン
 DVD内蔵23型液晶テレビが当たる!

